

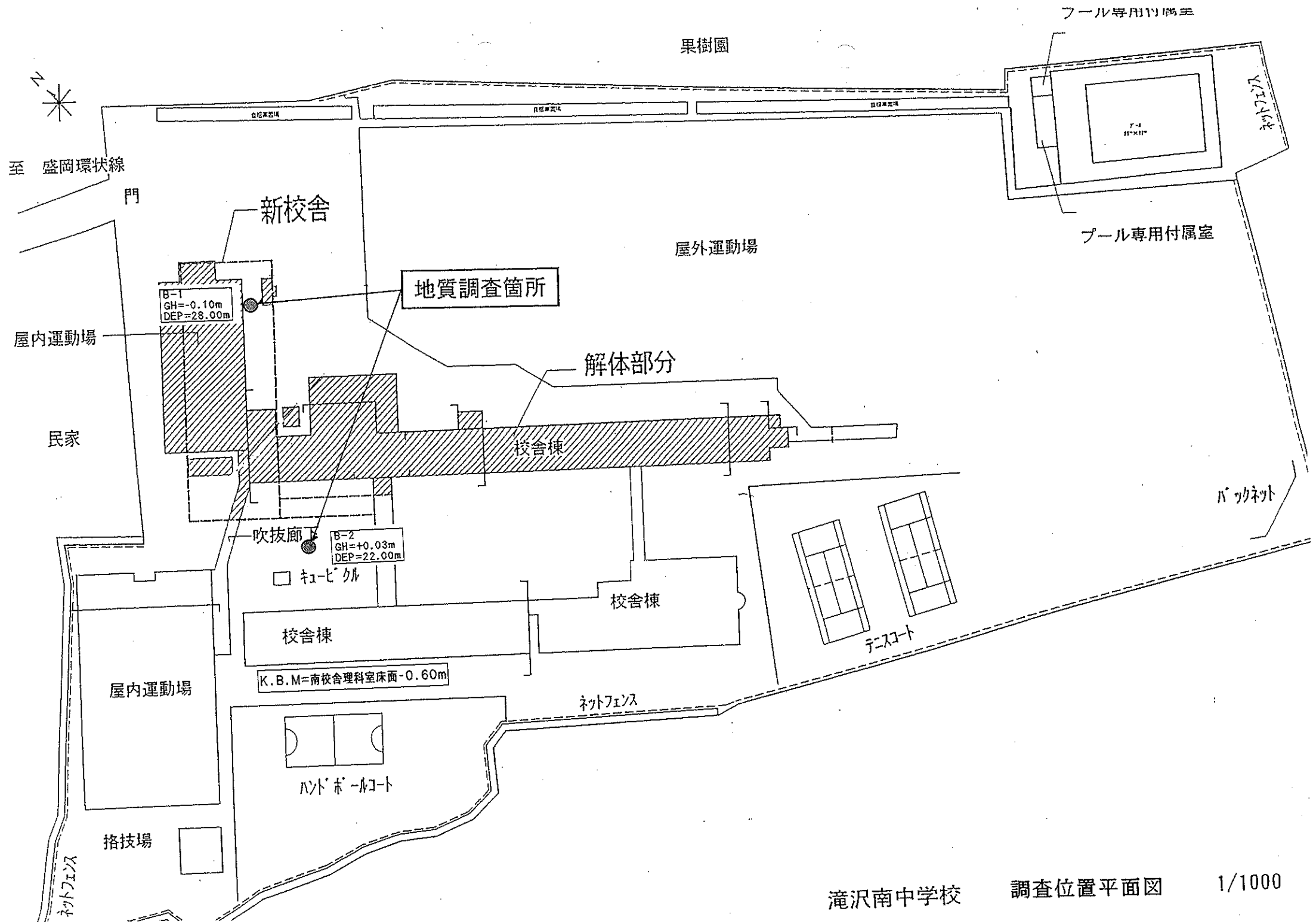
平成17年度

滝沢村立滝沢南中学校北校舎
建設用地地質調査業務

報 告 書

平成17年9月

滝 沢 村
株式会社 長内水源工業



ボーリング柱状図

調査名 滝沢村立滝沢南中学校北校舎建設用地地質調査業務

事業・工事名

ボーリングNo.
シートNo.

ボーリング名	B-1	調査位置	岩手郡滝沢村鶴飼字滝向11番地1 地内		北緯		
発注機関	滝沢村	調査期間	平成17年 9月 2日～平成17年 9月 7日		東経		
調査業者名	株式会社 長内水源工業 電話 019-662-2201	主任技師	高橋 竜司	現代理人	高橋 竜司	コピ定者	高橋 竜司
ボーリング責任者	佐藤 正人		試験機	東邦 D-1	ハンマー	落下用具	
エンジン	ヤンマー NFD-10		ポンプ	東邦 BG-3B			
孔口標高	K. B. M. -0.10m	角			地盤勾配		
総掘進長	28.00m	度			使用機種		

標高	層厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	記	孔内	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		掘進	
										度	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	N値	深	試験名及び結果	深	試料採取番号		
-0.80	0.70	0.70	盛土	暗灰				シルト混じり砂礫。上部0.50mまで碎石。φ2~50mmの円~垂円礫を主体とする。マトリックスは砂およびシルト。0.50~0.70mにコンクリート片を混入する。	9/2 1.28	1.15	1	1	32	32					
			シルト	灰		非常に軟らかい		全体に軟らかい。炭化物および未炭化の腐植物を混入する。		1.47									
				黒褐				2.40m以深は含水が高い。		2.15									
-3.10	2.30	3.00	粘土	暗褐				2.70~3.00mは腐植物が主体でスポンジ状である。		2.48									
								やや硬い粘土で粘性が強い。全体に炭化物および腐植物が点在する。		3.15	1	1	1	3	30				
-4.00	0.90	3.90	有機質土	暗赤褐				3.70~3.80mに火山灰質の砂を混入する。		3.45									
								腐植物を主体とし、全体にスポンジ状を呈する。暗赤褐色を呈するが、空気に触れるとすぐに黒色に変色する。全体に軟らかい。		4.15	1	1	1	3	30				
										4.45									
										5.15	1	1	1	2	31				
										5.46									
										6.15	1	1	1	2	31				
										6.46									
-7.40	3.40	7.30	シルト	淡緑灰				含水は中位で軟らかい。緑色系を呈する部分は空気に触れると灰色系に変色しやすい。		7.15	1	1	1	2	32				
								7.50~7.60mに有機物を多く混入し暗色を呈する。		7.47									
								7.90~8.00mおよび8.80~8.90mに細~中粒の軽石質砂を混入する。		8.15	1	1	1	2	30				
								12.00~12.20mに中粒砂を挟む。		8.45									
										9.15	1	1	1	2	31				
										9.46									
										10.15	1	1	1	3	30				
										10.45									
										11.15	2	4	2	8	30				
										11.45									
										12.15	1	1	1	2	31				
										12.46									
-12.90	5.50	12.80	礫混じり砂質シルト	暗灰				φ5~20mmの角~亜角礫を多く混入する。礫の最大コア長は50mm程度。全体に炭化物が点在する。軽石粒の混入が多い。含水はやや高い。		13.15	5	8	5	18	30				
										13.45									
										14.15	2	3	2	7	30				
										14.45									
										15.15	2	1	1	4	30				
										15.45									
-16.80	3.90	16.70	粘土	灰				中位の硬さの粘土である。有機物が点在する。灰色を呈するが、空気に触れると褐灰色に変色しやすい。細~中粒砂を主体とする。		16.15	2	2	1	5	30				
								17.60~17.70mに有機物を多く混入する。		16.45									
-17.55	0.75	17.45	砂	暗灰				18.00~19.00mは含水が高い。		17.15	2	2	1	5	30				
								19.70m以深はφ5~50mmの角~亜角礫を混入し、よく締まっている。		17.45									
										18.15	4	4	2	10	30				
										18.45									
										19.15	16	13	13	42	30				
										19.45									
										20.15	13	5	3	21	30				
										20.45									
-21.60	1.35	21.50	シルト	暗赤褐				腐植物を多く混入する。含水は低く、比較的硬い。暗赤褐色を呈するが、空気に触れるとすぐに黒色に変色しやすい。		21.15	2	2	1	5	30				
										21.45									
-22.00	0.40	21.90	粘土混じり砂	黒褐				粗粒砂を主体とし、シルトを多く混入する。含水が高く軟らかい。		22.15	10	17	19	46	30				
								凝灰角礫岩であると見られるが、風化が激しくマトリックスは粘土化している。角礫は安山岩が主体で、φ20~50mmの角礫状である。		22.45									
										23.05	50			50					
										23.07	2			2					
										24.05	50			50					
										24.08	3			3					
										25.05	50			50					

孔口標高	K. B. M. -0.10m	角	180° 上下	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 0° 水平 90°	使用機種	試錐機 東邦 D-1	ハンマー 落下用具	コンプリー
総掘進長	28.00m	度	0°	向				エンジン	ヤンマー NFD-10	ポンプ	東邦 BG-3B

標尺	標高	層厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	記	粒度試験による土質区分	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		掘進						
											深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	N 値			深	試験名及び結果	深		試料採取方法	室内	進			
m	m	m	m	図	分	調	度	度	事	日	m	0	10	20	30	40	50	60	m		m	号	法	験	日	
1	-0.80	0.70	0.70		盛土	暗灰			シルト混じり砂礫。上部0.50mまで碎石。φ2~50mmの円~垂円礫を主体とする。マトリックスは砂およびシルト。0.50~0.70mにコンクリート片を混入する。	9/2 1/28	1.15	1	1	1	32	32	10									
2					シルト	灰 黒褐		非常に軟らかい	全体に軟らかい。炭化物および未炭化の腐植物を混入する。		1.47				32	32	10									
3	-3.10	2.30	3.00		粘土	暗褐			2.40m以深は含水が高い。		2.15				33	33	10									
4	-4.00	0.90	3.90		粘土	暗褐			2.70~3.00mは腐植物が主体でスポンジ状である。		2.48				33	33	10									
5					有機質土	暗赤褐			やや硬い粘土で粘性が強い。全体に炭化物および腐植物が点在する。		3.15	1	1	1	3	30	3									
6					有機質土	暗赤褐			3.70~3.80mに火山灰質の砂を混入する。		3.45				30	30	3									
7					有機質土	暗赤褐			腐植物を主体とし、全体にスポンジ状を呈する。暗赤褐色を呈するが、空気に触れるとすぐに黒色に変色する。全体に軟らかい。		4.15	1	1	1	3	30	3									
8					有機質土	暗赤褐			腐植物を主体とし、全体にスポンジ状を呈する。暗赤褐色を呈するが、空気に触れるとすぐに黒色に変色する。全体に軟らかい。		4.45				30	30	3									
9					有機質土	暗赤褐			腐植物を主体とし、全体にスポンジ状を呈する。暗赤褐色を呈するが、空気に触れるとすぐに黒色に変色する。全体に軟らかい。		5.15	1	1	1	2	31	2									
10					有機質土	暗赤褐			腐植物を主体とし、全体にスポンジ状を呈する。暗赤褐色を呈するが、空気に触れるとすぐに黒色に変色する。全体に軟らかい。		5.46	1	1	1	2	31	2									
11					有機質土	暗赤褐			腐植物を主体とし、全体にスポンジ状を呈する。暗赤褐色を呈するが、空気に触れるとすぐに黒色に変色する。全体に軟らかい。		6.15	1	1	1	2	31	2									
12					有機質土	暗赤褐			腐植物を主体とし、全体にスポンジ状を呈する。暗赤褐色を呈するが、空気に触れるとすぐに黒色に変色する。全体に軟らかい。		6.46	1	1	1	2	31	2									
13	-7.40	3.40	7.30		シルト	淡緑灰		軟らかい	含水は中位で軟らかい。緑色系を呈する部分は空気に触れると灰色系に変色しやすい。		7.15	1	1	1	2	32	2									
14					シルト	褐			7.50~7.60mに有機物を多く混入し暗色を呈する。		7.47				32	32	2									
15					シルト	褐			7.90~8.00mおよび8.80~8.90mに細~中粒の軽石質砂を混入する。		8.15	1	1	1	2	30	2									
16					シルト	緑灰			12.00~12.20mに中粒砂を挟む。		8.45				30	30	2									
17					シルト	緑灰			12.00~12.20mに中粒砂を挟む。		9.15	1	1	1	2	31	2									
18	-12.90	5.50	12.80		礫混じり砂質シルト	暗灰		硬い	φ5~20mmの角~亜角礫を多く混入する。礫の最大コア長は50mm程度。全体に炭化物が点在する。軽石粒の混入が多い。含水はやや高い。		9.46	1	1	1	2	31	2									
19					礫混じり砂質シルト	暗灰			φ5~20mmの角~亜角礫を多く混入する。礫の最大コア長は50mm程度。全体に炭化物が点在する。軽石粒の混入が多い。含水はやや高い。		10.15	1	1	1	3	30	3									
20					礫混じり砂質シルト	暗灰			φ5~20mmの角~亜角礫を多く混入する。礫の最大コア長は50mm程度。全体に炭化物が点在する。軽石粒の混入が多い。含水はやや高い。		10.45	1	1	1	3	30	3									
21					礫混じり砂質シルト	暗灰			φ5~20mmの角~亜角礫を多く混入する。礫の最大コア長は50mm程度。全体に炭化物が点在する。軽石粒の混入が多い。含水はやや高い。		11.15	2	4	2	8	30	8									
22					礫混じり砂質シルト	暗灰			φ5~20mmの角~亜角礫を多く混入する。礫の最大コア長は50mm程度。全体に炭化物が点在する。軽石粒の混入が多い。含水はやや高い。		11.45	2	4	2	8	30	8									
23					礫混じり砂質シルト	暗灰			φ5~20mmの角~亜角礫を多く混入する。礫の最大コア長は50mm程度。全体に炭化物が点在する。軽石粒の混入が多い。含水はやや高い。		12.15	1	1	1	2	31	2									
24					礫混じり砂質シルト	暗灰			φ5~20mmの角~亜角礫を多く混入する。礫の最大コア長は50mm程度。全体に炭化物が点在する。軽石粒の混入が多い。含水はやや高い。		12.46	1	1	1	2	31	2									
25	-16.80	3.90	16.70		粘土	灰		中くらい	含水は中位の硬さの粘土である。有機物が点在する。灰色を呈するが、空気に触れると褐灰色に変色しやすい。		13.15	5	8	5	18	30	18									
26					粘土	灰			含水は中位の硬さの粘土である。有機物が点在する。灰色を呈するが、空気に触れると褐灰色に変色しやすい。		13.45	5	8	5	18	30	18									
27					粘土	灰			含水は中位の硬さの粘土である。有機物が点在する。灰色を呈するが、空気に触れると褐灰色に変色しやすい。		14.15	2	3	2	7	30	7									
28					粘土	灰			含水は中位の硬さの粘土である。有機物が点在する。灰色を呈するが、空気に触れると褐灰色に変色しやすい。		14.45	2	3	2	7	30	7									
29					粘土	灰			含水は中位の硬さの粘土である。有機物が点在する。灰色を呈するが、空気に触れると褐灰色に変色しやすい。		15.15	2	1	1	4	30	4									
30					粘土	灰			含水は中位の硬さの粘土である。有機物が点在する。灰色を呈するが、空気に触れると褐灰色に変色しやすい。		15.45	2	1	1	4	30	4									
31					粘土	灰			含水は中位の硬さの粘土である。有機物が点在する。灰色を呈するが、空気に触れると褐灰色に変色しやすい。		16.15	2	2	1	5	30	5									
32					粘土	灰			含水は中位の硬さの粘土である。有機物が点在する。灰色を呈するが、空気に触れると褐灰色に変色しやすい。		16.45	2	2	1	5	30	5									
33					粘土	灰			含水は中位の硬さの粘土である。有機物が点在する。灰色を呈するが、空気に触れると褐灰色に変色しやすい。		17.15	2	2	1	5	30	5									
34	-17.55	0.75	17.45		砂	暗灰		中くらい	中位の硬さの粘土である。有機物が点在する。灰色を呈するが、空気に触れると褐灰色に変色しやすい。		17.45	2	2	1	5	30	5									
35					砂	暗灰			中位の硬さの粘土である。有機物が点在する。灰色を呈するが、空気に触れると褐灰色に変色しやすい。		18.15	4	4	2	10	30	10									
36					砂	暗灰			中位の硬さの粘土である。有機物が点在する。灰色を呈するが、空気に触れると褐灰色に変色しやすい。		18.45	4	4	2	10	30	10									
37					砂	暗灰			中位の硬さの粘土である。有機物が点在する。灰色を呈するが、空気に触れると褐灰色に変色しやすい。		19.15	16	13	13	42	30	42									
38					砂	暗灰			中位の硬さの粘土である。有機物が点在する。灰色を呈するが、空気に触れると褐灰色に変色しやすい。		19.45	16	13	13	42	30	42									
39	-20.25	2.70	20.15		シルト	暗赤褐		中位	腐植物を多く混入する。含水は低く、比較的硬い。暗赤褐色を呈するが、空気に触れるとすぐに黒色に変色しやすい。		20.15	13	5	3	21	30	21									
40					シルト	暗赤褐			腐植物を多く混入する。含水は低く、比較的硬い。暗赤褐色を呈するが、空気に触れるとすぐに黒色に変色しやすい。		20.45	13	5	3	21	30	21									
41					シルト	暗赤褐			腐植物を多く混入する。含水は低く、比較的硬い。暗赤褐色を呈するが、空気に触れるとすぐに黒色に変色しやすい。		21.15	2	2	1	5	30	5									
42					シルト	暗赤褐			腐植物を多く混入する。含水は低く、比較的硬い。暗赤褐色を呈するが、空気に触れるとすぐに黒色に変色しやすい。		21.45	2	2	1	5	30	5									
43					粘土混じり砂	黒褐			粗粒砂を主体とし、シルトを多く混入する。含水が高く軟らかい。		22.15	10	17	19	46	30	46									
44					粘土混じり砂	黒褐			粗粒砂を主体とし、シルトを多く混入する。含水が高く軟らかい。		22.45	10	17	19	46	30	46									
45					風化凝灰岩	黄褐			凝灰角礫岩であると見られるが、風化が激しくマトリックスは粘土化している。角礫は安山岩が主体で、φ20~50mmの角礫状である。		23.05	50			50		50									
46					風化凝灰岩	黄褐			凝灰角礫岩であると見られるが、風化が激しくマトリックスは粘土化している。角礫は安山岩が主体で、φ20~50mmの角礫状である。		23.07	2			50		50									
47					風化凝灰岩	黄褐			凝灰角礫岩であると見られるが、風化が激しくマトリックスは粘土化している。角礫は安山岩が主体で、φ20~50mmの角礫状である。		24.05	50			50		50									
48					風化凝灰岩	黄褐			凝灰角礫岩であると見られるが、風化が激しくマトリックスは粘土化している。角礫は安山岩が主体で、φ20~50mmの角礫状である。		24.08	3			50		50									
49					風化凝灰岩	黄褐			凝灰角礫岩であると見られるが、風化が激しくマトリックスは粘土化している。角礫は安山岩が主体で、φ20~50mmの角礫状である。		25.05	50			50		50									
50					風化凝灰岩	黄褐			凝灰角礫岩であると見られるが、風化が激しくマトリックスは粘土化している。角礫は安山岩が主体で、φ20~50mmの角礫状である。		25.08	3			50		50									
51	-25.70	3.70	25.60		礫岩	暗灰			亀裂が非常に多く、φ10~50mmの片状コアで採取される。岩片は非常に硬い。礫は安山岩を主体とする。		26.00	貫入不能			50		50									
52					礫岩	暗灰			亀裂が非常に多く、φ10~50mmの片状コアで採取される。岩片は非常に硬い。礫は安山岩を主体とする。		27.00	50			50		50									
53					礫岩	暗灰			亀裂が非常に多く、φ10~50mmの片状コアで採取される。岩片は非常に硬い。礫は安山岩を主体とする。		27.02	2			50		50									
54					礫岩	暗灰			亀裂が非常に多く、φ10~50mmの片状コアで採取される。岩片は非常に硬い。礫は安山岩を主体とする。		28.00	50			50		50									
55					礫岩	暗灰			亀裂が非常に多く、φ10~50mmの片状コアで採取される。岩片は非常に硬い。礫は安山岩を主体とする。		28.02	2			50		50									

9/2

9/3

9/5

9/6

